

事業者向け 児童発達支援自己評価表

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	○		狭い為、用具等の置き場が無い。集中するための工夫が必要（間仕切り）。
	2 職員配置数は適切であるか	○			児童発達は、児童1人に対し職員2～3人が対応しており、十分な配置ができています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○	○		十分に構造化された環境ではない。設備は問題無い。重心児の障害特性に応じた環境ではない。段差やガラス窓、フローアーが滑りやす等のリスクがある。用具が多く、邪魔になることがある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○	○		用具や床の洗浄、消毒は毎回おこなっている。山が近いため虫が多く、駆除できない時がある。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年、自己評価を実施しホームページで公表している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価を取り入れていない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員研修や出張等は、全職員を対象に実施している。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			令和元年にアセスメントと要望書を新しい物に変更した。以前の物より、分かりやすくなった。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			令和元年にアセスメントと要望書を新しい物に変更した。以前の物より、分かりやすくなった。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			個別支援計画を作成し、児童にあった支援計画作成と実施を行っている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			個別支援計画を作成し、児童にあった支援計画作成と実施を行っている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			会議や朝礼、活動前の話し合いを実施している。
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同じプログラムとならないようにし、成長に合わせて変更している。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いい え	改善目標、工夫している点など	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			実施できている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			会議や朝礼、活動前の話し合いを実施し、役割も決めている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りの時間がない。 直ぐの振り返りが実施できない時は、次の日や次回利用前に実施し、共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録、日誌等で検証や改善に繋げている。
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半期に1度は計画のモニタリングを行い、新たな計画に繋げている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			会議等があった際は、日頃関わっている職員が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			行政や他の事業所と連携し、ケース会議や電話連絡等で情報提供や統一した支援を行う体制を取っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			主治医との連携は保護者をお願いしている。 あおばの杜の嘱託医には状況を報告している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		必要な場合は、関係機関との連携は行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		必要な場合は、関係機関との連携は行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			電話や見学等で助言を得ている。相談支援専門員とも連携をとっている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流は実施していない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	参加していない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者の方も一緒に支援に参加して頂いているので、常に話し合いをおこない状況や課題について共通理解を持っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	○		ペアレントトレーニングの実施はできていないが、常に相談にのっている。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いい え	改善目標、工夫している点など	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に実施すると共に、常に確認とれるように玄関に規定等を置いている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			作成後に説明し、同意とサイン・印鑑を頂き、両方で保管している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時相談に応じている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	実施できておらず、今後の課題である。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			お知らせやナースコール、メール等により、情報発信を行っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	○		名前や電話番号等について、今まで以上に注意が必要。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			出来る限りわかりやすく工夫している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業のお祭り（あおば祭り）を5月に実施し、地域の方を招待している。
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			防災訓練を一人年2回以上実施している。各マニュアルに関して、職員に配布し周知している。保護者には「施設からのお知らせ」等で発信している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を一人年2回以上実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			処方箋の保管や変更時の確認、てんかん等の把握を家族と連携している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	対象者なし。飲食等の提供をしていない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			実施している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置しており、研修会にも参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束はしていない。